

[総 評]

令和 8 年度杉並区 N P O 活動資金助成審査

令和 8 年度の助成事業では、計 11 団体（スタートアップ事業 6 団体、ステップアップ事業 5 団体）から申請がありました。申請額は予算額 150 万円を上回る 2, 610, 000 円となりました。従来と同様に、協議会において第一次審査（書類審査）及び第二次審査（プレゼンテーション、ヒアリング審査）の二段階方式による審査を行いました。

第一次審査では、各団体が作成した事業計画書及び予算書の内容を確認し、事業のニーズや効果、実行可能性を審査し、スタートアップ事業 3 団体、ステップアップ事業 3 団体全ての団体である計 6 団体を通過団体として決定しました。第二次審査では、各団体のプレゼンテーションを受けて質疑応答を行った後、6 団体による申請総額 (1, 703, 000 円) に対して、各団体の事業について、その有効性や発展性、経費の妥当性等の観点から、協議会において審議を経て、相対的な比較・検討を実施しました。その結果、4 団体（スタートアップ事業 2 団体、ステップアップ事業 2 団体）、助成額計 978, 000 円を決定しました。そのうち、3 団体は申請額どおり助成することとし、スタートアップ事業 1 団体については、申請額を一部減額して助成することを決定しました。

助成決定させていただいた 4 団体の皆様には、本助成金を活用して、杉並区の地域社会をけん引していくような活動を期待すると共に、より一層充実した活動に取り組んでくださいますよう、お願い申し上げます。

今年度の特徴としては、対象団体の要件を拡大したことにより、申請団体が増加したことがあげられます。こうした積極的な区民の N P O 等活動に対しては、審議会として、公正な審査を行うことは当然ながら、できる限りの資金助成に応じていくことも求められます。一方、近年、区の助成予算額が減少傾向であり、特に今年度は申請件数の増加が見込まれる想定もありながらも、十分な助成予算額であったのかという点については、検証が望まれます。要件緩和により、今後の申請件数の増加が見込まれることから、助成予算額のあり方については来年度以降の課題として、ここで提示させていただきます。活動内容については、縮小する子どもの居場所に対する支援や区内在住の外国人に関する支援といった、現代の地域社会を表す事業内容が目立ちました。こうした団体の活動を通して、区に対しても新たな政策課題の発見、また政策実施へと結びつけていくことを求め、総評といたします。